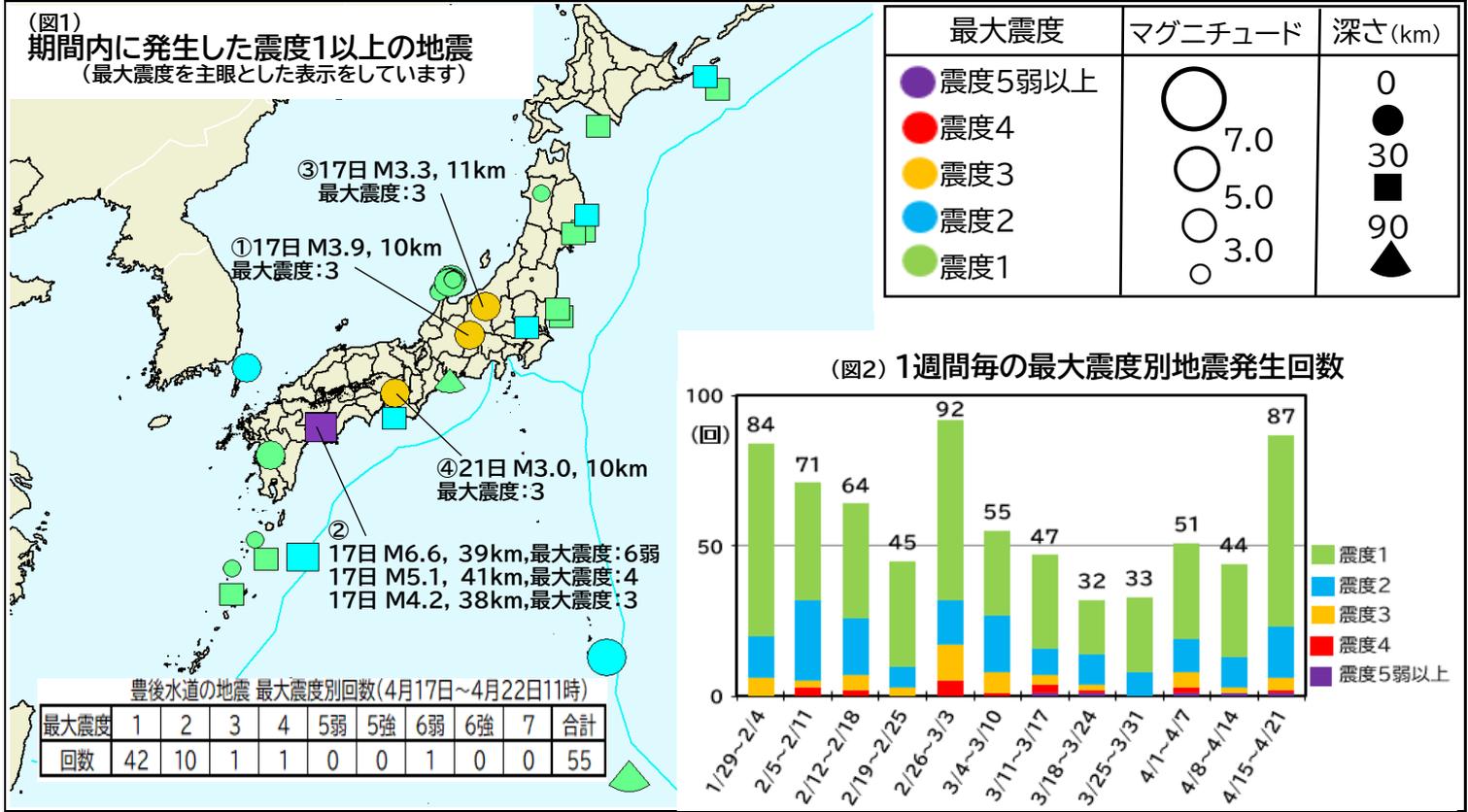


この期間の最大震度は6弱(豊後水道で発生した地震)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が87回発生。最大震度は6弱(豊後水道で発生した地震により愛南町、宿毛市で観測)。
- ①4月17日19時18分に長野県南部で発生した地震(M3.9、深さ10km)により、長野県塩尻市・木曾町で震度3を観測したほか、埼玉県から岐阜県にかけて震度2~1を観測。
- ②4月17日23時14分に豊後水道で発生した地震(M6.6、深さ39km)により、愛媛県愛南町、高知県宿毛市で震度6弱を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度5強~1を観測。22日11時まで震度1以上を55回観測(トピックス参照)。
- ③4月17日23時31分に長野県北部で発生した地震(M3.3、深さ11km)により、長野県山ノ内町で震度3を観測したほか、長野県北部で震度2~1を観測。
- ④4月21日06時19分に紀伊水道で発生した地震(M3.0、深さ10km:速報値)により、和歌山県和歌山市で震度3を観測したほか、和歌山県紀美野町、大阪府岬町で震度1を観測。

トピックス

- 豊後水道の地震は想定震源域内で発生したのか? ■
- ・17日に最大震度6弱を観測した豊後水道の地震は、陸のプレートの下に沈み込んでいるフィリピン海プレート内で発生した地震(図3-2参照)。
- ・1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源近傍(図3-1の赤破線内)の地震活動は低調で、1997年10月以降に発生した地震でM5を超える地震の発生は今回が初めて。
- ・TVや新聞には、今回の地震は想定されている「南海トラフ巨大地震」との関連性に関する報道が多く見られる。
- ・その一つは、想定されている震源域内で発生した地震なのか否かである。想定震源域は図4に紫色で塗りつぶした範囲で、⊗が今回地震が発生した場所なので、この平面図からは、想定されている震源域内で発生したと言えるが、想定されている南海トラフ巨大地震は陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生する地震であることを図3-2の断面図から見ると、両プレートの境界ではなくフィリピン海プレートの内部で発生していることが分かる。従って、この地震は、想定されている震源域内で発生した地震では無いと言うのが正しいだろう。
- ・2つ目は、想定されている南海トラフ巨大地震の発生に影響を与えるのかである。このことについて研究者の考えを紹介している報道は、想定されているプレート境界で発生したのではなく、プレート内部で発生した地震なので影響は無い。フィリピン海プレートが関連している地震なので影響が無いとは言えない等、様々である。

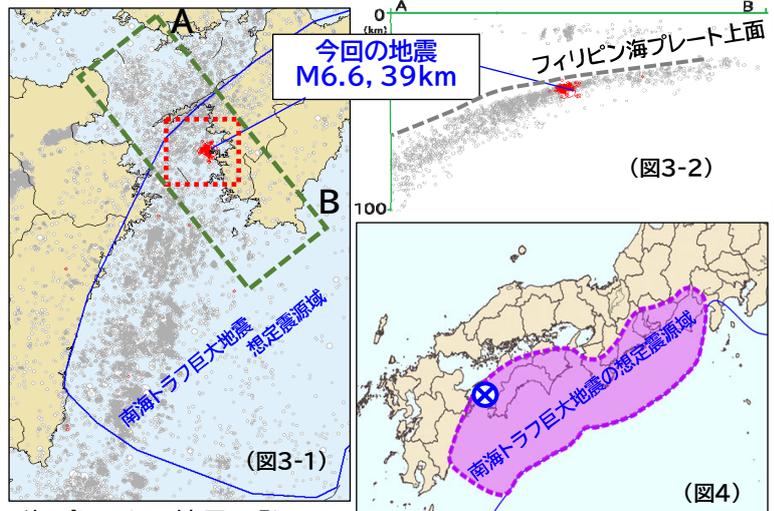


図3: 震央分布図(左上)と断面図(右上)
1997/10/1 --- 2024/4/20 M \geq 2
灰丸:1997/10/1 --- 2024/4/16
赤丸:2024/4/17 --- 2024/4/20
図4: 南海トラフ巨大地震の想定震源域